

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

施設名	多摩センターこどもの家
施設所在地	多摩市落合1-47ニューシティ多摩センタービル2階
法人名	(株) ライフケアサービス

1. 活動のテーマ

<テーマ>

0歳児から始める毎日の英語レッスン!

<テーマの設定理由>

週に1回や月に1回、英語のレッスンを取り入れている園は多いが、毎日0歳児クラスから英語の時間がある園は、まだそんなに多くはない。毎日英語に触れると、何でも吸収できる乳幼児に、日々の生活の中でどのような影響があるのかを見たいという思いで考えた。また、国際化が進んでいる今、クラスに複数名外国籍の子どもが存在する時代になり、多様な文化に触れる機会を多く持つことは子どもにとって有意義な時間になると思う。

2. 活動スケジュール

各クラス、毎日1回は「英語の時間」を確保する。但し、英語講師が不在の日は実施しない。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

英語講師・CDデッキ・CD・英語の絵本
0.1歳児は自由遊びの中に英語を取り入れ、自然に英語の環境に慣れていくやり方をしているため、クラス単位で受けているが、2歳児クラスは、行う内容によって少人数の方が混乱しないと思われるゲームなどでは、あえて2グループに分けじっくり取り組めるような環境を担任と英語講師が話し合って決めている。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

0歳児クラスから毎日英語レッスンの時間を設け、ネイティブの生きた英語に触れる時間を作る。0.1歳児は歌をメインに手遊びから、2歳児はゲームを通して単語や会話に触れていく。また、ハロウィンやクリスマスなどの行事の時は本場の海外の雰囲気も味わえるような出し物などで、異文化に触れる機会も作っていく。日々の保育者や友だちとの会話の中に、英単語が出てくるようになっていくと理想的だと思うが、まずは耳が慣れて子どもたちが心地よいと感じることができると良い。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

0.1歳児クラスは、自由遊びの時間に英語講師が入ってきて、歌や手遊びが始まり、自然と集まってきて楽しむというところから始めた。「英語の時間」という事にこだわらず、遊びの中に英語が入ってきたという感覚から始めた。回を重ねるごとに、子どもたちが手ぶりや身振りで曲に乗って笑顔で体を動かし、中には耳から入った発音で歌う子も出てきている。2歳児クラスは、あえて「英語の時間」と明確にし、これから何か楽しいことが始まるよ、という期待感を持たせることで主体的に活動に参加できたと思う。2歳児クラスの子どもたちに一斉参加を強要することはせず、遊びに没頭している子や参加する気分ではない子には、そのまま好きな遊びを継続して良いという声掛けをしていたが、最後は皆が楽しんでいる輪の中に自ら入ってくる子がほとんどである。曲のフレーズも2.3回目覚えてしまう子もいて、今では全フレーズ歌えている子が多い。英語以外の活動の中でも、英語の歌を1人が口ずさめば、それがどんどん伝播し、ほとんど全員が口ずさむ時もあり、子どもの吸収力の高さに驚かされる。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

0. 1歳児クラス

回を重ねるごとに自然と講師の周りに座り、知っている曲が流れると身振り、手振りで曲に合わせて体を動かすようになっていった。歌える子は耳から入ってきたフレーズ通りに歌うようになってきている。

2歳児クラス

最初は参加したくない、遊びたいと言ってそのまま遊びを継続する子が必ずいたが、友だちが楽しそうに参加している姿を見て、徐々に参加していった。今では英語講師が保育室に入ってくると、自ら使っていた玩具を片付け、講師の前に座るようになった。習慣化してきている。散歩中や自由遊びの時間など、一人が今朝英語のレッスンで歌った歌を口ずさめば、次々とその歌に参加し、最後はクラス全員の子が歌っているという現象も見られるようになった。ハロウィン誕生会では、英語の時間に覚えた「かぼちゃ」「ドラキュラ」「魔女」「おばけ」などを英語で言えるようになったのも毎日の英語の成果だと思う。

これらの事から、子どもたちの吸収する力は無限で、多言語でも関係なく吸収し、自分のものにしてしまうという事がよくわかった。また毎日繰り返す行は、子どもにとって習慣化し身に付けるという大事な要素なのだと感じたので、今後は英語以外にも身に付けて欲しい基本的習慣などにも取り入れていきたい。